

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査実施日 平成31年4月18日(木)

(3) 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年

(4) 調査内容

① 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ◇ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等。
- ◇ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。

調査問題では、上記内容を一体的に問うこととする。

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

2 調査の結果(美浜町)

(1) 各教科別の分析結果

① <小学校国語>

○良かった点

- ・ 知りたいことを調べるために、本の目次や索引を活用することについて理解している。
(知りたいことを調べるために、選んだ本の目次から、読むページとして適切なものを選択する。)

●改善を要する点

- ・国語への関心・意欲・態度に見られる質問紙の「国語が好き」の回答は全国平均に比べて低い。
- ・記述式問題に課題が見られる。(資料から言葉や文を取り上げ、質問に対する答えになるように考えて書く。)

☆改善策

- ・児童の日常生活の中に、国語に対する関心を高めるような工夫を取り入れる。言語に関する簡単なクイズを継続して行う取組や、国語を含めた全教科で書くことに慣れさせ、抵抗をなくしていくような取組を進める。

②〈小学校算数〉

○良かった点

- ・図形領域の台形の理解。(長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶ。)
- ・図形領域の図形の面積の求め方を説明すること。(示された面積を求める式の意味を、数や演算が表す内容に着目して書く。)

●改善を要する点

- ・計算の順序のきまりを理解したり工夫したりして計算すること。(6+0.5×2の計算)
- ・資料の特徴や傾向を関連付けて判断し、その理由を説明すること。(グラフから一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだ理由を書く。)

☆改善策

- ・式と具体的な場面を対応させ、式の中の数の意味を言葉で表現する機会を設け、実感を伴った計算のきまりの理解を促す。
- ・説明できることを目指す授業では、「説明に必要な条件は何なのか」を教師が明確に持ち、対話を通して価値づけ・検討・修正し、よりよいものを目指していくような場の設定を進める。

③〈中学校国語〉

○良かった点

- ・短歌に詠まれた情景や読んだ人の心情を想像し、それについて感じたことや考えたことを記述すること。(掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えを書く。)

●改善を要する点

- ・情報を整理して内容を捉えることや、話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つこと。(話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く。)

☆改善策

- ・説明的な文章について、目的を持って情報を整理しながら読むこと、国語科で身に付けた話し合いの技能を、他教科等と関連付けて活かすような場の設定を工夫する。

④ 〈中学校数学〉

○良かった点

- ・「数と式」「図形」の領域の知識・技能を問う問題。（連立方程式を解く、三角形の合同条件を書く。）
- ・「資料の活用」領域の判断理由を数学的な表現を用いて説明すること。（ヒストグラム(柱状グラフ)の特徴をもとに説明する。)

●改善を要する点

- ・問題解決の方法を数学的に説明すること。（式やグラフを用いて、答えを求める。）
- ・事柄が成り立つ理由を説明すること。（連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることを説明する。）

☆改善策

- ・「何（事実、方法、理由）を説明させるのか」「説明に必要な条件（用いる数学用語等）は何なのか」を教師が明確に持ち、対話を通して価値付け・検討・修正し、よりよいものを目指していくような場の設定を工夫する。

⑤ 〈中学校英語〉

○良かった点

- ・まとまりのある英語を聞いて、話の概要や必要な情報を理解すること。（英語のスピーチを聞いて、話の展開に合わせて絵を並び替える。天気予報を聞いてピクニックに行くときに適した曜日を選ぶ。）
- ・文の中で適切な接続詞を用いること。（文中の空所に最も適切な接続詞を選ぶ。）

●改善を要する点

- ・「読むこと」日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を正確に理解すること。（グラフを見て、その内容を正しく表している英文を選ぶ。）
- ・「書くこと」与えられた情報に基づいて正確に英文で書く。（情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く。）

☆改善策

- ・生徒が意欲を持って「読もう」「書こう」とする手立てを工夫する。
- ・「読む」「書く」前に「聞く」「話す」活動をやり取りの中で十分に行い、内容に興味を持たせたり、言語材料をインプットしたりする。
- ・単元を通して英語表現・語彙の使用を繰り返す中で間違いに気づかせ、正確な英文を身に付けさせる。

(2) 生活態度・学習状況の分析結果

① 〈小学校〉

○良かった点

- ・生活（朝食、同じ時刻の就寝・起床）、学習（宿題・計画）が身についている。
- ・算数科の新しい問題への探求心や難解な問題に粘り強く取り組むことができている。

●改善を要する点

- ・「将来の夢や希望を持っている」が全国平均を下回っている。
- ・「人の役に立つ人間になりたい」が全国平均を下回っている。
- ・「国語の勉強は大切だ」と答えているが、「内容は理解不足」の児童がいる。

☆改善策

- ・子どもたちが活躍でき、認められる場の設定を工夫する。
- ・学習意欲を高める授業の工夫や、学習習慣を定着させる取組を工夫する。

② 〈中学校〉

○良かった点

- ・学習、生活習慣を確立し、部活動に励んでいる。
- ・学級活動で話し合いをしながら、解決方法を決定している。

●改善を要する点

- ・設問「将来の夢や目標を持っている」、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の結果が全国平均より低い。

☆改善策

- ・今の自分を見つめ直したり、正義感を持ちながら周囲と関わったりする取組を工夫する。

3 保護者の皆様へのお願い

- ◇自分から進んで勉強したり、読書したりする環境づくりをしましょう。
- ◇いろいろなことを子どもに問いかけ、対話を楽しみましょう。
- ◇子どもの「なぜ?」「どうして?」という発想を大切にし、ともに話し合しましょう。
- ◇インターネット（スマホ、タブレット、ゲーム機等）や、テレビの使用ルール（スマートルール）を決めましょう。
- ◇「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身につくようご協力ください。